

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2025

実施要領

主 催



協 賛



大旗連合建築設計
OHATA + PARTNERS



建築学生のみなさんへのメッセージ
～本設計コンペ実施にあたって～

皆さんが学校の課題で建築のデザインを進める際、どこかの過程で「この建築は周囲の景観にふさわしいのか？」と考える場面が必ずあると思います。また、建築雑誌に掲載されている作品を眺めながら、「この建築は周囲の景観と調和しているか？」という議論を交わすこともあるでしょう。

では、そもそも「景観」とは何でしょうか。英語では「Landscape」と訳されますが、景観という言葉の語源とされるドイツ語「Landschaft」には、「自然と人の営みが一体となった風景」という意味があります。そこから、景観学における「景観」とは、人々の社会的な営みが歴史的に積み重なった結果として、「人々が知覚できる姿」として現れるものとされています。

つまり、私たちがただ漠然と風景を眺めているだけでは、「景観」という概念は生まれてきません。世界の国々を旅し、その土地の歴史や文化を体験する中で、そこには必ずと言ってよいほど建築が介在しています。建築は、景観を知覚するきっかけとなる存在であり、それこそが建築の持つ重要な役割の一つなのではないでしょうか。建築を通して、自然と人の営みの関係を感じ取ることができたならば、それは「景観をつくる建築」と呼ぶにふさわしいかもしれません。

今回の課題のテーマは「スノーステーション」です。住民が安全な生活を送れるよう冬季の路面凍結に迅速に対応する凍結防止剤散布車を格納するスペースを確保するこの施設には、積雪に耐える構造性能や、安全かつ効率的な作業が可能となるレイアウトが求められます。また、地域住民に安心感を与える存在であり、道路沿いのランドマークとしての役割も期待されます。

そうした現実的な機能性を十分に考慮しながらも、建築が建てられる場所の特性—すなわち、自然と人の営みの関係—を丁寧に読み解き、「景観をつくる建築」としての提案がなされることを期待しています。



審査委員長

Architects Atelier Ryo Abe 安部 良

目 次

1 趣旨.....	- 1 -
2 対象建築物	- 1 -
3 テーマ	- 1 -
4 審査基準及び方法.....	- 2 -
5 賞及び賞金等.....	- 2 -
6 日程.....	- 2 -
7 審査委員会	- 3 -
8 問合せ先	- 3 -
9 設計条件等	- 3 -
10 参加者の資格.....	- 6 -
11 手続き等	- 6 -
12 一次審査	- 9 -
13 最終審査（二次審査）	- 9 -
14 現地調査時の注意事項.....	- 10 -
15 実施要領に関する質問の受付及び回答.....	- 10 -
16 最優秀作品の取扱い	- 11 -
17 その他の留意事項	- 11 -
（様式1）作品提出届	- 13 -
（様式2）設計条件チェックリスト	- 14 -
（参 考）位置図、付近見取図.....	- 15 -
配置計画図.....	- 17 -
現地写真.....	- 18 -
収容物参考写真	- 19 -
散布機格納方法参考写真	- 20 -
（別紙1）敷地平面図	
（別紙2）敷地横断面図	

1 趣旨

広島県は、魅力ある建築物が県内に持続的に創造されていく環境づくりに向け、クリエイティブな人材の育成に取り組んでいます。この設計コンペは、人材育成の一環として、建築学生を対象に、小規模な公共建築物の設計コンペを実施するものです。

令和7年度は、スノーステーションを題材として全国の建築学生を対象に実施します。また、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品の提案者は、実際の設計に関わっていただきます。

2 対象建築物

世羅スノーステーション（広島県世羅郡世羅町大字別迫 444-2、446-3、446-4）

3 テーマ

「道を拓く者を格納せよ」

スノーステーションは地域の経済活動や住民の安全を確保するために不可欠な施設です。

積雪地域では、路面凍結により交通事故や転倒事故のリスクが高まったり、道路の除雪が遅れることによって緊急車両の通行が困難になるなど、地域住民の生活に大きな影響が及ぼされます。

住民が安全な生活を送れるよう冬季の路面凍結に迅速に対応する凍結防止剤散布車等を格納するスノーステーションを設けることとします。

大型車両の格納といった機能面に配慮し、自然豊かな周辺環境に馴染むよう、色彩や素材を工夫した提案をしてください。

スケジュール(予定)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
チャレンジコンペ			
新築事業		 設計	 工事

4 審査基準及び方法

(1) 審査基準

本設計コンペの選考は、「3 テーマ」を中心に、「9 設計条件等」に基づき、デザイン、使いやすさ、維持管理及びライフサイクルコストへの配慮などを勘案し、総合的な観点から審査を行います。また、実現性を有していることは重要です。

(2) 審査方法

審査は2段階選抜方式とします。

「7 審査委員会」に記載する審査委員会が審査を行い、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点、審査委員長特別賞作品等数点を選定します。

ア 一次審査

一次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定し、審査委員長特別賞作品数点を決定します。

詳細は、「12 一次審査」をご覧ください。

イ 最終審査（二次審査）

最終審査（二次審査）は公開審査とし、提案者本人によるプレゼンテーション及び質疑応答により、提案の内容と実現性等を審査し、入選案の中から最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点を決定します。

詳細は、「13 最終審査（二次審査）」をご覧ください。

5 賞及び賞金等

最優秀作品賞受賞者等には賞金等を授与する予定です。

賞		賞金等
最優秀作品賞	1点	賞金40万円、賞状、トロフィー
優秀作品賞	2点	賞金20万円、賞状、トロフィー
入選作品賞	2点	賞金5万円、賞状
審査委員長特別賞等	数点	賞状

※賞金は協賛企業から授与されます。

6 日程

区 分	日 程
実施要領配布開始日	令和7年7月5日（土）
応募登録申込受付期間	令和7年7月5日（土）～令和7年9月4日（木）
質疑受付期間	令和7年7月5日（土）～令和7年8月8日（金）
提案作品受付期間	令和7年9月5日（金）～令和7年9月12日（金）
一次審査結果発表	令和7年10月中旬
最終審査（二次審査） 及び審査結果発表・表彰式	令和7年11月15日（土）

7 審査委員会

本設計コンペの審査は、次の「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2025 審査委員会」が行います。

区 分	氏 名	所 属 等
審査委員長	安部 良	建築家、Architects Atelier Ryo Abe 代表 東京藝術大学美術学部建築科准教授
審 査 委 員	田中 健二	建築家、株式会社 SHDL 代表取締役
	大野 慶雄	建築家、オオノヨシオ建築設計事務所主宰 広島工業大学非常勤講師
	南 博高	広島県土木建築局土木整備担当部長
	吉田 勝則	広島県土木建築局建築技術担当部長

8 問合せ先

事務手続き窓口 広島県営繕課 営繕企画グループ 住 所 広島市中区紙屋町 1-1-20 いよぎん広島ビル 6 階 電 話 (082)513-2311 F A X (082)224-6411 電子メール doeizen@pref.hiroshima.lg.jp

※本設計コンペに関する問い合わせは「8 問合せ先」に行うこととし、施設管理者等に直接問い合わせることは厳に禁止します。

◆本実施要領及び様式のダウンロード先 URL :

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/miryoku/challe-com2025.html>

広島県 HP 内 ひろしま建築学生チャレンジコンペのホームページ（以下「県HP」という）

9 設計条件等

(1) 計画敷地条件

ア 所在地	広島県世羅郡世羅町大字別迫 444-2、446-3、446-4
イ 敷地面積	484.3 m ²
ウ 区域区分	都市計画区域外
エ 用途地域	指定なし
オ 建蔽率	指定なし
カ 容積率	指定なし
キ 地区計画	なし
ク 都市設備	上水道：なし 下水道：なし ガス：なし 電気：あり

(2) 設計と条件

ア 建物概要

構 造	鉄骨造
床面積	170 m ² 以上 190 m ² 未満 ※散布車が入りやすい形状、配置とすること。 ※散布車は横並びで格納すること。
階 数	地上 1 階建
高 さ	軒の高さ 7,500mm 以上 ※クレーンにより散布機や凍結防止剤を散布車に搭載するため、散布車・散布機・凍結防止剤の寸法を見込んだ揚程(5m 程度) + 天井クレーン本体と天井クレーンガーダの寸法 (1.3m 程度) + 天井クレーンガーダ上部から梁等上方にあるものとの間隔の空間 0.4m 以上 (クレーン等安全規則第十三条第一号による) を確保できるように建物内の高さを設定すること。 建築物の高さ 10,500mm 以下 ※積雪地域であることを考慮した屋根の形状・勾配とし、それらに適した屋根材を選択すること。また、清掃・点検・修理などがしやすくそれらのメンテナンス費用も抑えることができるよう配慮したものとすること。
用 途	車庫・倉庫
所要室	車庫兼倉庫
格納物等	・凍結防止剤散布車 2 台 (以下、散布車という。) [1 台当たり L7,000mm × W2,300mm × H3,000mm] (MS-40BIT・MS-40SWT・NDS35SS5 範多機械(株)相当品のいずれかを格納) ・車載式小型凍結防止剤散布機 12 台 (以下、散布機という。) [1 台当たり L2,860mm × W1,250mm × H1,100mm] (MS-10MGH 範多機械(株)相当品を床置き (p.20 参照) で格納すること。) ・凍結防止剤 40 袋 [1 袋当たり L1,200mm × W1,200mm × H1,200mm] (2 段積みで保管するため、20 袋分の床面積を確保すること。 散布車等への積みやすさを考えて配置すること。)
必要設備等	・電動シャッター 1 か所 [W7,000mm 程度 × H4,000mm] ・天井クレーン 1 台 (散布機(540kg 程度)・凍結防止剤(1t 程度)を散布車へ搭載・撤去するのに使用するため定格荷重 2t(日本ホイスト MRV ホイスト NHEE2.0MRV 相当品)を設置 建物内の全範囲で使用できるようにすること。) ・収納棚 (p.19 参照、タイヤチェーン等を収納、W2,000mm × H1,800mm × D1,000mm 程度で 2～3 か所設けること。)

イ 工事費：7,000 万円以下 (税込み) なお、税率は 10%を見込んでいます。

※ 上記工事費内で、実現可能な提案としてください。なお、工事費には建築工事費・電気設備工事費・機械設備工事費・外構工事費(留意事項⑯に記載のとおりアスファルト舗装のみ)を含みます。

※ 工事費の積算は、公共建築工事積算基準を参考としてください。なお、工事費には、直接工事費の他、共通仮設費や現場管理費などの共通費が含まれます。

ウ 留意事項

【内部計画について】

①建物内は凍結防止剤により、空気中の塩分濃度は一定程度高いものとなることから、建物内

に使用する材は耐塩性を有するもの（亜鉛めっき等）としてください。

- ②換気用の窓（W1,800mm×H1,400mm 程度）を必ず手動で開閉ができるよう、FL+1,100mm 程度(窓の下端まで)の位置に、換気に効果的な配置となるよう 3～4 か所設けてください。
- ③電動シャッターとは別に勝手口（W800 mm×H2,000mm 程度）を駐車場側に 1 か所設け、勝手口に庇を設けてください。
- ④作業員が一人でも作業しやすいよう、屋内照明のスイッチは勝手口付近に設けてください。
- ⑤床は敷地の地盤勾配に従うことなく水平に計画してください。ただし、散布車のタイヤに雪がついている場合があるので、雪解水の排水を考慮した床勾配(0.8%程度)を設けてください。また、水はけを考慮した床仕上げとしてください。
- ⑥敷地内の高低差を考慮し、FL を標高 386m 程度とし、基礎で高低差を処理してください。（散布機及び凍結防止剤を格納する部分においては必ずしも出入口を要しません。）
- ⑦所要室は車庫兼倉庫のみであり、水道とガスの使用はありません。

【外部計画について】

- ⑧電動シャッター及び勝手口付近に、雨雪の影響を考慮した外部仕様の照明を設置してください。
- ⑨電動シャッター出口付近で搭載型トラッククレーン（L6,200 mm×W2,000mm）が作業できるように、シャッター部分は前面道路から 2,000mm 以上離してください。（シャッター出口（屋外）に搭載型トラッククレーンを停車し、アーム部分を建物内に伸ばして凍結防止剤の搬出作業を行うことがあります。）
- ⑩建物から散布車が出入りする際の動線（軌跡図）を両方とも図示してください。散布車が出入りする際に切り返しが最小限となるよう、また、障害物がないようレイアウトに配慮してください。また、駐車場スペースに設けた駐車区画から一般車両が出入りする際の動線（軌跡図）を図示してください。
- ⑪散布車が出る際、散布車を運転する作業員から周囲が見えるよう、建物の角度や位置にできるだけ配慮してください。また、散布車が反対車線になるべく出ないように建物の配置を検討してください。
- ⑫散布車の安全な出入りのため、道路からシャッター出入口までのアプローチに急勾配や段差ができないよう、7%以下の傾斜を設けてください。なお、前面道路から雨水が流入しないよう、建物側を高くしてください。
- ⑬敷地ががけの上にあるため、がけ崩れに対する建築物の安全性を確保については、がけの下端から建築物との間に、がけの高さの 1.7 倍以上の水平距離を保つか、または、がけ側の建築物の基礎の根入れを深くする等、基礎応力ががけに影響を及ぼさない計画にしてください。（別紙 2 敷地横断図参照）
- ⑭現状の敷地の傾斜をなるべく活かしつつ提案してください。建物の設置に必要な範囲で地面を一部掘削することは可能ですが、土地の造成は行わないこととしてください。
- ⑮作業員が一般車両でスノーステーションに向かうことがあるため、p.17 配置計画図に記載の駐車場スペースに出入時の安全に配慮して駐車区画（5.0×2.5m のスペースを 2 台分）を記載してください。なお、駐車区画に屋根は設けないでください。
- ⑯外構工事はアスファルト舗装のみ行うこととしてください。

【その他】

- ・建築基準法等各種法令を遵守してください。

・維持管理費が過大とならないように計画してください。

(3) ローコストへの配慮について

コストを抑えた中で、魅力的なスノーステーションを提案してください。ただし、提案作品が、創造性豊かであったとしても、審査委員会において、コストオーバーすることが懸念された場合には、選定できませんので、指導教授等と十分に検討し、「(2) イ」に記載の予定工事費内で実現可能な提案となるよう留意してください。実施コンペのため、公共施設の積算基準の内容等について指導教授等の指示を仰ぐなど、ローコストへの配慮をお願いします。

近年、公共事業の予算の縮減が進み、事業に対する費用対効果についても強く求められています。コストと建物の機能・魅力をどのようにして両立させるか、「(2) 設計と条件」を遵守した上で工夫やアイデアを提案してください。

(4) 建築物の計画に関する配慮

一般的に建築物に求められる次の各項目について、明らかに配慮に欠けるものは選考に影響しますので留意してください。

ア ライフサイクルコストへの配慮

コストと耐久性の両面から工夫し、工事費や維持管理費等のライフサイクルコストの低減に配慮すること。「(2) イ」記載の工事費以下とすること。

イ 効率的な維持管理への配慮

清潔に保ちやすく、清掃・補修等が容易なこと。

ウ 機能性への配慮

大型車両の格納に配慮した機能的な施設であること。

エ 脱炭素化への配慮

建物のエネルギー消費量を抑制する施設であること。

(5) その他の条件

検討にあたっては、上記(1)～(4)に留意してください。

なお、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品は実際に建設するため、優れた提案であることと同時に特にコスト、構造、施工性について、実現性を有していることが求められます。

10 参加者の資格

日本国内の大学、大学院、短期大学、高等専門学校（本科4年・5年、専攻科）、専修学校（専門課程）、各種学校の建築関連学科に在籍する学生であること。

上記の学生により構成されたグループによる応募も可とします。なお、同一の学校の学生によるグループに加え、複数の学校の学生により構成されたグループも可とします。

※ 令和7年7月5日現在、在籍中であること。

※ 建築関連学科とは、建築学科、インテリアデザイン学科など、建築設計に関する授業を行っている学科を指します。

11 手続き等

(1) 応募登録・登録番号

本設計コンペに応募しようとする者は、県HPにある応募登録フォームにより応募登録してください。

事務局は、応募登録の受け付け後、登録内容を確認し、登録番号を交付します。登録番号は、郵送もしくは電子メールにより応募登録者（代表者）へ通知します。

◆応募登録フォームURL

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=22179



応募登録フォーム二次元コード

ア 応募登録の受付期間

令和7年7月5日（土）から令和7年9月4日（木）まで

イ 指導教授等の承諾

最優秀作品に選定された提案者は、実施設計に参加していただきます。設計者との協議においては指導教授等の指導及びアドバイスの下進めていくことを想定しているため、応募登録にあたりあらかじめ、指導教授等に承諾を得た上で、応募してください。

ウ 指導教授等の条件

指導教授等とは、提案者に対し常に指導できる立場にある方を求めており、提案者の所属学校に勤務されていることを要件としています。（研究室での指導を担当している教授等を想定しています。）

また、実施設計にあたっては、実施設計の経験があり、構造計画及びコスト管理のできる方またはこれと同等の方であり、学生の提案に対して十分な指導やアドバイスができることを条件とします。

（2）提案作品の提出

提案作品の提出は、次のとおり行ってください。

なお、応募登録者1者（又は1グループ）は1つの提案作品を提出することができます。

ア 提案作品の受付期間（締切日）

令和7年9月5日（金）から令和7年9月12日（金）まで（必着）

イ 提出する図書（提案図書）

提出図書	記載内容等	部数
① 提案書 ・ A 1 用紙 ・ 片面横使い ・ 1 枚	提案書には次の内容を記載してください。 ・ 設計趣旨 （「3 テーマ」「9 設計条件等」に照らし合わせて配慮した要旨） ・ 外観スケッチなど設計意図のわかるもの ・ 平面図（縮尺自由） ・ 立面図（縮尺自由） ・ 断面図（縮尺自由） ・ 工事費（合理的に検討されているか、検討の経緯がわかるよう記載をしてください。） ・ 登録番号 提案書には、用紙右上（用紙の端から概ね縦 2 c m × 横 5 c m の範囲内）に、事務局から交付された登録番号を 24 ポイント以上で記載してください。 ※審査過程で応募登録者の匿名性を確保する必要があることから、提案書には応募登録者が特定できる事項等を記入することはできません。応募登録者が特定できる事項等が記入されていた場合には、提案作品を受け付けできませんのでご了承ください。	1 部
② 作品提出届	・ 様式 1 県 HP から様式をダウンロードし、必要事項を記入してください。 <u>※必ずすべての項目を満たしていることを確認した上で提出してください。</u>	1 部
③ 設計条件チェックリスト	・ 様式 2 県 HP から様式をダウンロードし、必要事項を記入してください。 <u>※必ずすべての条件を満たしていることを確認した上で提出してください。</u>	1 部
④ 電子データ（C D 等）	①提案書、②（様式 1）作品提出届、③（様式 2）設計条件チェックリスト ・ 電子データは、C D 等に保存し提出してください。 ・ データ形式は、次のとおりとしてください。 ①：JPEG と PDF の両方 ②③：PDF データ容量は、<u>それぞれ必ず 10MB 以下</u>としてください。 ファイル名は【応募登録番号 3 ケタ_大学名_提出データ名】としてください。 例) 001_〇〇大学_提案書	1 部

ウ 注意事項

- ・提案書を手書き等で製作した後、カメラ等で撮影した写真を電子データとして提出する場合には、印刷等の使用に耐えられる解像度となるよう鮮明な画像としてください。
- ・提案図書は返却しませんので、必要に応じて事前に複製しておいてください。
- ・電子データ等は、審査結果、審査過程及び講評等で使用します。
- ・毎年、電子データが破損した状態や 10MB を超えた状態で提出されるケースが頻発しており、審査上支障が出ています。保存したデータが破損していないか。また 10MB 以下になっているか必ず確認してください。

エ 提出場所及び提出方法

作品提出先	広島県土木建築局営繕課 営繕企画グループ
住所	〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町 1-1-20 いよぎん広島ビル 6 階
電話	(082) 513-2311

提出に要する費用は提出者の負担となります。

持参される場合は、期間内の月曜日から金曜日（祝日・休日を除く）の 9 時から 17 時までとします。

※ 郵送の場合は、9 月 13 日（金）17 時必着とします。

※ 電子メールによる提出はできません。

1 2 一次審査

(1) 審査の方法

一次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を 5 点程度選定し、審査委員長特別賞等を数点決定します。

(2) 審査の基準

「4 (1) 審査基準」のとおりです。

(3) 一次審査結果の発表方法

一次審査結果は、10 月中旬に県 HP 上で発表します。また、一次審査を通過した提案者には直接通知するとともに、最終審査（二次審査）の案内を併せて行います。

なお、審査委員長特別賞の方には表彰式への案内を通知します。

1 3 最終審査（二次審査）

(1) 審査の方法

最終審査（二次審査）は公開審査とし提案者本人によるプレゼンテーションと審査委員による質疑応答により、提案の内容及び実現性等を審査し、最優秀作品 1 点、優秀作品 2 点、入選作品 2 点を決定します。

(2) 審査日程及び審査会場（予定）

審査日程： 令和 7 年 11 月 15 日（土）13 時から 18 時まで

審査会場： 広島市内

(3) 審査の基準

「4 (1) 審査基準」のとおりです。

(4) ヒアリングの実施

- ・ヒアリングは、提案者本人によるプレゼンテーションと審査委員による質疑応答により行います。
- ・プレゼンテーションの方法は、発表時間 20 分以内（質疑応答 10 分含む）で、提案書による説明のほか、模型等を作成し、これらを用いた効果的な説明を行ってください。また、パソコンとプレゼンテーションソフトを使用した説明も可能とし、プロジェクターとスクリーンは会場に準備します。詳細は、一次審査を通過した提案者に通知します。
- ・最終審査（二次審査）を辞退または欠席した場合は、棄権として取り扱い、審査の対象から除外します。

(5) 最終審査（二次審査）結果の発表方法

- ・最終審査（二次審査）の審査結果は、当日会場にて発表し、併せて表彰を行います。
- ・後日、審査結果、審査過程及び講評を県HP上で公表します。

1 4 現地調査時の注意事項

現地調査は下記のとおりルールを順守した上で行ってください。

- ・敷地に立ち入る際は周囲の安全を確認した上で、下記写真のとおり入ることとしてください。
- ・敷地周辺の住民等に直接ヒアリング等を行うことは厳に慎んでください。
- ・車や自転車等は他の車等の通行の邪魔にならないよう安全を確保して駐車してください。



現地の入り方

1 5 実施要領に関する質問の受付及び回答

(1) 質問の受付

県HPの質問フォームにより質問をしてください。

◆質問フォームURL：

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=24391

(2) 質問の受付期間

令和7年8月8日（金）まで

(3) 質問に対する回答

- ・質問に対する回答は、順次、県HP上に掲載します。
- ・なお、最終回答は令和7年8月22日（金）を目途に県HP上に掲載します。

※ 回答した内容によっては、実施要領を修正する場合があります。

設計条件に関する修正や追加が想定されるため、随時県HPでご確認ください。



質問フォームQRコード

16 最優秀作品の取扱い

- (1) 基本・実施設計は、県が別に設計事務所を選定し、基本・実施設計業務として委託します。
- (2) 最優秀作品の提案者は基本・実施設計者と協議し、周辺の環境や景観との調和等を図るとともに、工事費（コスト）や構造等の技術的な助言を、県が別に選定した設計事務所から受けることとします。（場合によっては、提案内容の見直しが必要となることがあります。）
- (3) 最優秀作品の提案者は、実際の設計に関わっていただきます。なお、必要な旅費等は、提案者の負担となります。
- (4) 実施設計の完了まで関わっていただくことを基本とします。
- (5) 審査委員からの助言等により、修正等がある場合、最優秀作品の提案者は、提案書の内容を基本設計書として編集し直し、広島県営繕課に提出していただきますのでご了承ください。
- (6) 最優秀作品は、提案書及び実施設計参加状況の風景を県 HP 等で広く情報発信していく予定としていますのでご了承ください。

17 その他の留意事項

- (1) 応募登録後、審査結果の公表の日までの間に、応募登録者（提案者）が次の各号のいずれかに該当したときは応募登録を取り消します。
 - ア 提案作品提出期限に遅れた者又は提案図書に不備がある者
 - イ 応募登録内容及び提案図書に虚偽の記載をした者
 - ウ その他、審査委員会が不適格と判断した者
- (2) 本設計コンペに係る登録料は無料ですが、応募登録、質疑及び提案作品の提出、最終審査（二次審査）等に関する費用は応募登録者の負担とします。
- (3) 提案作品等は一切返却できません。
- (4) 提出された提案図書の著作権は、その提案者に帰属することとします。ただし、最優秀作品の著作権は広島県に帰属することとし、使用权は広島県が無償で譲り受けます。
- (5) 提案図書は、選定に必要な範囲において複製することがあります。
- (6) 提案図書及び審査過程は、県 HP 等に掲載し公表する予定です。
- (7) 他者の著作権に抵触する画像、文書などの使用は認めません。また、雑誌、書籍、ホームページ等からの無断借用も認めません。

一次審査通過後に著作権侵害などの疑義が発覚した場合、応募登録を取り消します。また、提出作品について著作権侵害等が発覚した場合、全ての責任は提案者が負うものとなります。その他最優秀作品の提案者としてふさわしくないことが発覚した場合、広島県は、審査委員会と協議の上、優秀作品賞の案を採用することがあります。
- (8) 本設計コンペの応募登録に際して記入された氏名・住所・所属等の個人情報は、統計的な応募集計に利用し、当関係者以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。

ただし、提案者に関しては、提案作品とともに、氏名・所属を県 HP やマスコミリリース等で広く公表することとしておりますのでご了承ください。
- (9) 施設管理者へ電話等により直接問い合わせることは厳に禁止します。
- (10) 法規上及び予算上等の理由により、協議の上、提案内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

- (1 1) 今後の社会情勢や財政事情の変化、その他不可抗力等により、事業計画の変更又は中止をする場合があります。この場合、本設計コンペの応募登録者（提案者）に対して主催者は一切の責任を負わないものとします。
- (1 2) この要領に定めることのほか、本設計コンペを行うために必要な事項が生じた場合は、主催者が本設計コンペ審査委員会と協議の上、これを定め、応募登録者（提案者）に通知します。
- (1 3) 最終審査（二次審査）会場等で、協賛企業によるアンケートやチラシの配布等が行われる予定です。承知おきください。

(様式1)

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2025 作品提出届

広島県知事 様

「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2025」に基づき、提案作品を提出します。

令和7年 月 日

応募登録番号	
--------	--

提出図書チェックリスト ※チェックのないものは受け付けません。

- ☐ 提案書の用紙はA1である。
- ☐ 提案書は片面横使いである。
- ☐ 提案書の右上に登録番号を記載している。
- ☐ 提案書の文字や画像が鮮明であることを確認している。
- ☐ 提案書の電子データは、JPEG、PDFの両方を保存している。
- ☐ 提案書の電子データは、10MB以下となっている。
- ☐ 電子データが破損していないことを確認している。

(様式2)

応募登録番号

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2025 設計条件チェックリスト

本設計コンペの提出作品は実施要領の「9. 設計条件」を満たす必要があります。

また、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品は実際に建設するため、特に「(2) 設計条件」を満たしているか、十分にチェックをされますようお願いいたします。

次のチェックリストのうち「●」を付した項目についてはすべて満たしている提出作品を入選案（5点程度）の選定対象とします。「○」を付した項目については、提出作品の記載で満たしていることの確認が難しい場合はそれを踏まえての審査となりますので不利になる可能性があります。

なお、以下のチェックリストの提出者チェックと提出作品の記載に齟齬がある場合は入選案（5点程度）の選定対象となりませんので注意してください。

		提案者 チェック	事務局 チェック
ア 建 物 概 要	●鉄骨造地上1F建となっている。		
	●床面積は170㎡以上190㎡未満となっていることが提案書に明記されている。（床面積_____㎡）		
	●軒の高さは7,500mm以上、建築物の高さは10,500mm以下となっていることが提案書に明記されている。 （軒の高さ_____mm、建築物の高さ_____mm）		
	●建物内部は車庫兼倉庫の一室のみとなっていることが提案書に図示されている。		
	●散布車2台、散布機12台、凍結防止剤40袋、棚2～3か所を格納・設置できることが提案書に図示されている。		
	●電動シャッター（W7,000mm程度（※許容差±1割以内）、H4,000mm）が設けられていることが提案書に明記されている。		
	●天井クレーンを設けており、建物内の全範囲で使用できることが提案書に図示されている。		
イ 工 事 費	○工事費7,000万円以下に抑えられており、合理的に検討されているか、検討の経緯がわかるよう提案書に明記されている。		
ウ 留 意 事 項 【 内 部 計 画 に つ い て 】	○建物内に使用する材は耐塩性を有するもの（亜鉛めっき等）となっていることが提案書に明記されている。（留意事項①）		
	○換気用の窓（W1,800mm×H1,400mm程度※許容差±1割以内）を手動で開閉ができるよう、FL+1,100mm程度（※許容差±1割以内）に3～4か所設けていることが提案書に図示されている。（留意事項②）		
	●電動シャッターとは別に勝手口（W800mm×H2,000mm程度※許容差±1割以内）を駐車場側に1か所設け、勝手口に庇を設けていることが提案書に図示されている。（留意事項③）		
	○屋内照明のスイッチは勝手口付近に設けてあることが提案書に図示されている。（留意事項④）		
ウ 留 意 事 項 【 外 部 計 画 に つ い て 】	○床は敷地の地盤勾配に従うことなく水平に計画されており、雪解水の排水を考慮した床勾配（0.8%程度）、水はけを考慮した床仕上げとなっていることが提案書に明記されている。（留意事項⑤）		
	○FLを標高386m程度とし、基礎で高低差を処理していることが提案書に図示されている。（留意事項⑥）		
	○電動シャッター及び勝手口付近に、雨雪の影響を考慮した外部仕様の照明を設置していることが提案書に図示されている。（留意事項⑧）		
	○電動シャッター出口付近に搭載型トラッククレーン（L6,200mm×W2,000mm）が作業できることが提案書に図示されている。（搭載型トラッククレーンの位置を図示すること。）（留意事項⑨）		
ウ 留 意 事 項 【 外 部 計 画 に つ い て 】	●建物から散布車が出入りする際と駐車区画から一般車両が出入りする際の動線（軌跡図）を全て提案書に図示している。（留意事項⑩⑪⑫）		
	○道路からシャッターまでのアプローチに7%以下の傾斜を設け、前面道路から雨水が流入しないよう、建物側を高くしていることが提案書に図示されている。（留意事項⑬）		
	○がけの下端から建築物との間に、がけの高さの1.7倍以上の水平距離を保つか、または、がけ側の建築物の基礎の根入れを深くする等、基礎能力ががけに影響を及ぼさない計画となっていることが提案書に図示されている。（留意事項⑭）		
	●土地の造成を行っていないことが明記されている。（留意事項⑮）		
ウ 留 意 事 項 【 外 部 計 画 に つ い て 】	●駐車区画を提案書に図示している。（留意事項⑯）		
	○外構工事はアスファルト舗装のみであることが提案書に明記されている。（留意事項⑰）		

【提案者チェックの凡例等】

- ・項目を満たしているもの：✓
- ・項目を満たしているか不明なもの：△
- ・項目を満たしていないもの：×
- （「●」を付した項目はすべて✓となっているものを入選案の選定対象とします。）
- ・「ア 建物概要」の下線部には数値を記入してください。



位置図

(出典：国土地理院 地理院地図を一部加工)



付近見取図

(出典：国土地理院 地理院地図を一部加工)



付近見取図

(出典：国土地理院 地理院地図を一部加工)



付近見取図

(出典：国土地理院 地理院地図を一部加工)



配置計画図

(出典：国土地理院 地理院地図を一部加工)



①地点からの写真

アスファルトの色が変わっている
ラインから0.75mの位置を敷地範囲
の目安としてください。



②地点からの写真



③地点からの写真



④地点からの写真



⑤地点擁壁の写真



⑥地点擁壁の写真

現地写真



収容物参考写真（棚と凍結防止剤）



このように床置きで格納します。

散布機格納方法参考写真

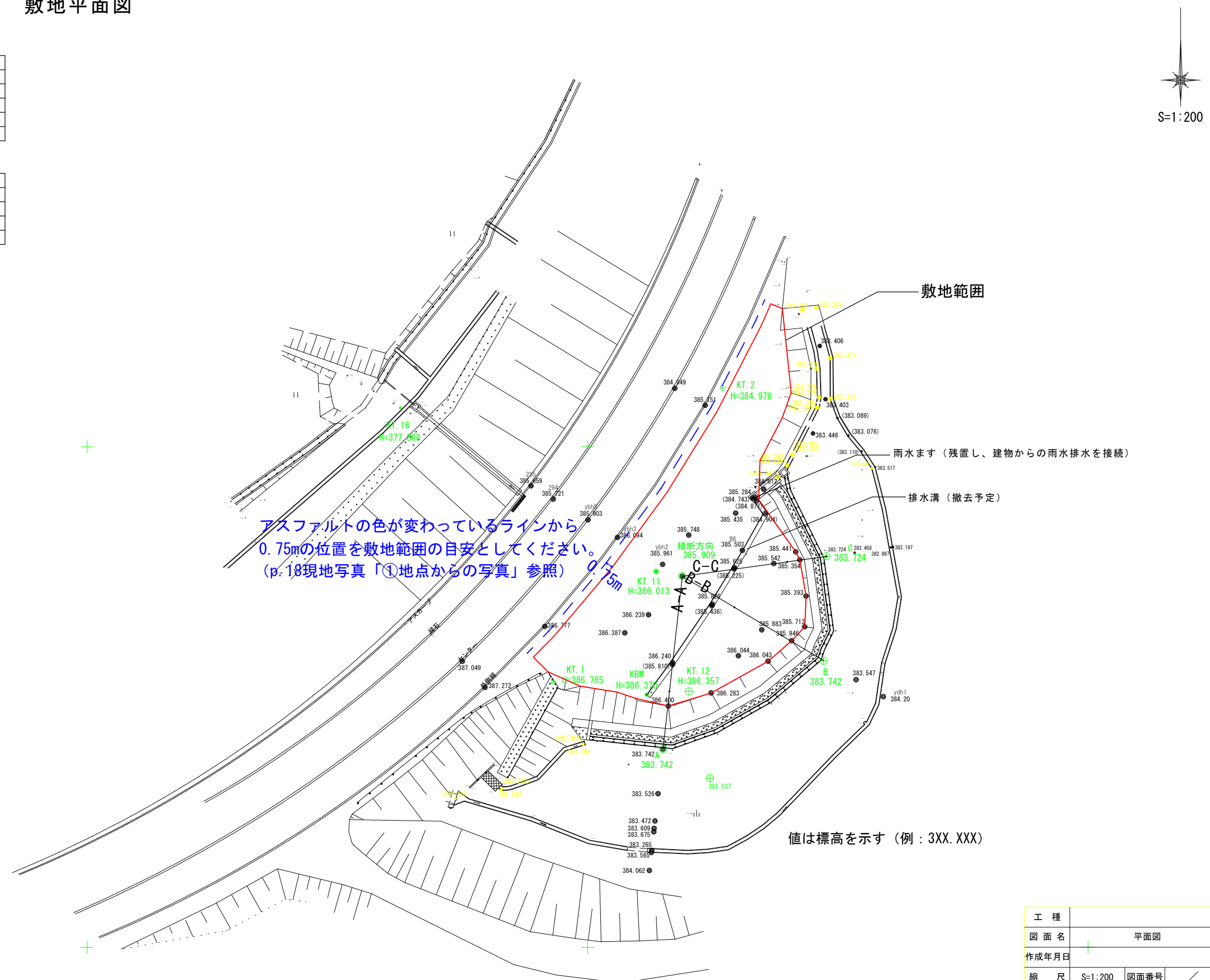
チャレンジコンペ2025別紙 1 敷地平面図

基準点座標一覧

測点	X座標	Y座標	備考
KT. 1	-150573. 536	83346. 587	
KT. 2	-150544. 154	83363. 501	
KT. 11	-150562. 466	83356. 867	
KT. 12	-150574. 442	83360. 146	
KT. 16	-150546. 113	83331. 293	

座標一覽

測点	X座標	Y座標	備考
A	-150580.221	83357.541	
B	-150573.390	83373.581	
C	-150560.953	83373.889	
横断方向	-150562.936	83359.464	

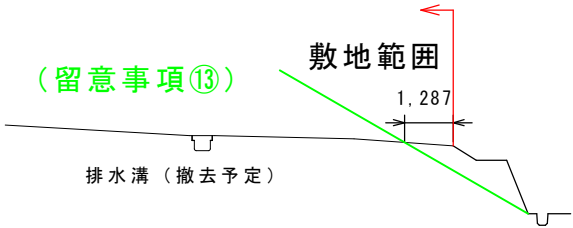


工 種			
図 面 名	平面図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:200	図面番号	/
会社名			
業者名			

C-C断面

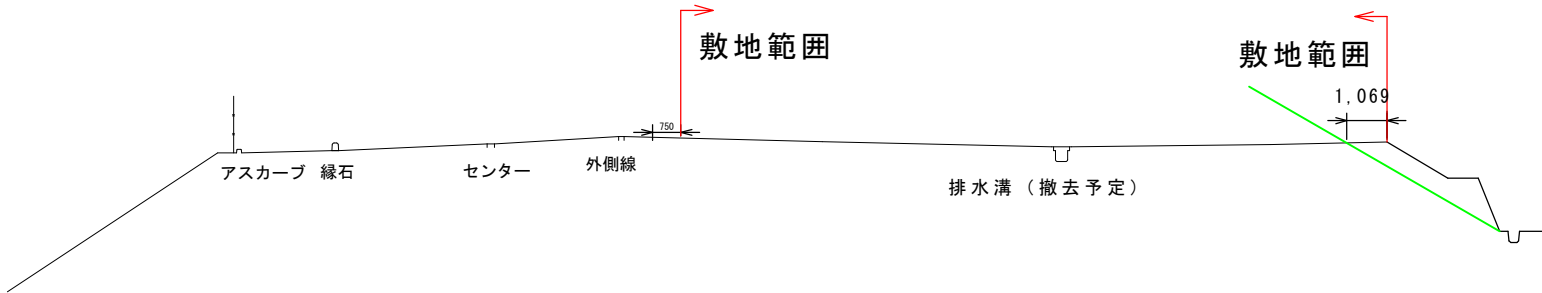
GH=383.66

基礎は緑色のラインより道路側に設けるか、
緑色のラインより根入れを深くしてください。（留意事項⑬）



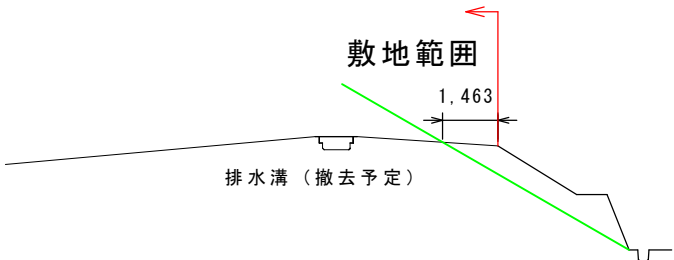
B-B断面

GH=383.62



A-A断面

GH=383.69



工 種			
図 面 名	横断面図		
作成年月日			
縮 尺	1:100	図面番号	
会社名			
業者名			